

DC/DC コンバータ制御用 IC

概要

NJM2360A は,DC/DC 変換用スイッチング電源IC です.基本的にNJM2360 と電気特性は同じですが,基準電圧が1.25V±2%に初期電圧を校正してあります。大容量の出力スイッチトランジスタを内蔵しており,ピーク電流1.5Aのスイッチング動作が可能です。ステップアップ,ステップダウン,インバータ等のアプリケーションが外付け部品を最小に抑えられ容易に実現できます。また,外部出力検出抵抗に1%の許容範囲の抵抗を使用すれば,アプリケーションの初期出力電圧を5%以内に抑えられます。

外 形





NJM2360AD

NJM2360AM

特徵

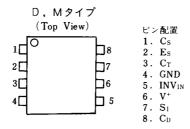
高精度リファレンス電圧1.25V±2%高出力スイッチ電流1.5A (MAX)電源電圧範囲2.5V*~40 V

過電流検出回路内蔵

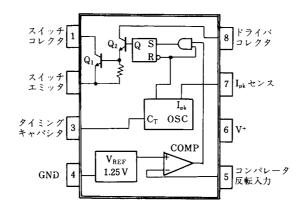
電源電圧 V⁺ 2.5V*~40V 出力電圧 V_{OR} 1.25V~40V 発振周波数 f_{OSC} 100Hz~100kHz

外形 DIP8, DMP8

端子配列



ブロック図



^{*}Ta=25 時、低温の条件においては3.0Vからの動作電圧になります。

絶対最大定格 (T_a = 25℃)

	項	目		記号	定格	単 位	
電	源	電	圧	V ⁺	40	V	
コンパレータ入力電圧				V_{IR}	-0.3 ~ 40	V	
消	費	電	カ	P _D	(D タイプ) 875 (M タイプ) 750 (注 1)	mW	
ス	イッチ	ング	電流	I_{SW}	1.5	Α	
動	作	温	度	T _{opr}	-40 ~ +85	℃	
保	存	温	度	T_{stg}	-40 ~ +150	℃	

(注 1) DMP(M タイプ)の消費電力は基板実装時とします。

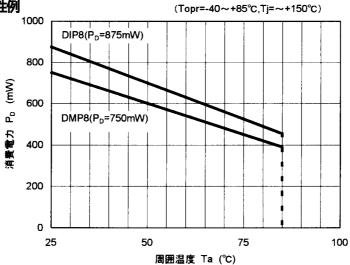
電気的特性

直流特性 (V⁺ = 5V, T_a = 25°C)

	項	目		記号	条件	最 小	標準	最 大	単 位			
消	費	電	流	I _{CC}	$5V V^{+} 40V, C_{T} = 0.001 \mu F$ $S_{I} = V^{+}, INV_{IN} > V_{th}, E_{S} = GND$	-	2.4	3.5	mA			
充	電	電	流	l _{chg}	5V V ⁺ 40V	20	35	50	μΑ			
放	電	電	流	I dischg	5V V ⁺ 40V	150	200	250	μΑ			
発	振 出 力	電圧	鱼	V_{OSC}		-	0.5	-	V_{P-P}			
充	放 電	電流	比	$I_{\rm dischg}/I_{\rm chg}$	$S_1 = V^+$	-	6	-	-			
電	流制限	検 出 電	1 圧	$V_{\text{IPK}(\text{sense})}$	$I_{chg} = I_{dischg}$	250	300	350	mV			
出力スイッチ (注 2)												
飽	和	1 圧	1	V _{CE(sat)} 1	ダーリントン接続(C _S = C _D), I _{SW} = 1.0A	-	1.0	1.3	V			
飽	和	臣 圧	2	$V_{\text{CE(sat)}}2$	I_{SW} = 1.0A, I_{C} (driver) = 50mA (Forced β = 20)	-	0.5	0.7	V			
直	流電	流 利	得	h_{FE}	$I_{SW} = 1.0A, V_{ce} = 5.0V$	35	120	-	-			
オ	フ時コし	ノ ク タ T	電流	$I_{C(off)}$	V _{ce} = 40V	-	10	-	nA			
コンパレータ												
ス	レッシホ	ールド	電圧	V_{th}		1.225	1.250	1.275	V			
入	カ バ イ	ア ス 電	意流	I_{IB}	$V_{IN} = 0V$	-	40	400	nA			

(注2)出力スイッチテストは消費電力を最小にするためパルス条件で行う。

消費電力 - 周囲温度特性例



<注意事項>

このデータブックの掲載が容の正確さには 万全を期しておりますが、掲載が容について 何らかが活かな保証を行うものではありませ ん。とくに応用回路については、製品の代表 的な応用例を説明するためのものです。また、 工業所有権その他の権利の実施権の許諾を伴 うものではなく、第三者の権利を侵害しない ことを保証するものでもありません。

新日本無線

- 2 - Ver.2007-06-08